

News Release

2024年12月4日

報道資料

ヒヤリハットの経験率は95%超 ドライバーの半数以上が、夕暮れ時や夜間の運転に不安 ドライブレコーダーの利用実態、“ヒヤリハット”に関する調査を実施 地方別ドライブレコーダーの設置率 第1位は“近畿地方”

パイオニアは、車を保有・運転する全国の男女 1,000 名を対象に、「ドライブレコーダー利用実態、ヒヤリハットに関する調査」を実施しました。

今回の調査では、ドライブレコーダーの設置率が63.8%と、2022年5月の前回調査※1から9.3ポイント増加しており、地方別の設置率で最も高かったのは「近畿地方」で、71.6%という結果になりました。また、ドライバーの75.8%が「ドライブレコーダーを設置することで安全意識が向上する」と回答しており、ドライブレコーダーの設置が、ドライバーの安全運転の意識を高めていることが分かりました。

さらに本調査では、運転中にヒヤッとする瞬間“ヒヤリハット”についても調査しており、ドライバーの95.9%が「ヒヤリハットを経験したことがある」と回答。夕暮れ時にヒヤリハットを経験した方が最も多く、半数以上のドライバーが、「夕暮れ時や夜間の運転に不安を感じている」と回答しています。警察庁の「薄暮時間帯における死亡事故に係る分析」※2においても、死亡事故は一日の中で17時～19時台、日没時間が早い10月～12月に最も多く発生しています。

※1 パイオニア調べ(2022年5月調査) <https://jpn.pioneer/ja/corp/news/press/index/2669/?ad=pr>

※2 警察庁「薄暮時間帯における死亡事故発生状況」 <https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzaen/hakubo.html>



<調査結果サマリー>

■ドライブレコーダーの設置率は63.8%。(前回調査※1から9.3ポイント増加)

地方別のドライブレコーダー設置率ランキング第1位は近畿地方。他地方に比べて「あおり運転対策」を設置理由に挙げる回答が多い結果に。

■ドライバーの75.8%が「ドライブレコーダーを設置することで安全意識が向上する」と回答。

■95.9%のドライバーが「ヒヤリハットの経験がある」と回答。

シチュエーションとして最も多かったのは「歩行者や自転車の飛び出し」。また、半数のドライバーが夕暮れ時にヒヤリハットを経験していることが判明。

■ドライバーの75.7%が「運転を不安に思うことがある」と回答。

運転が不安になるシチュエーションは、「夕暮れ時や夜間に運転するとき」が70.1%という結果に。

<調査概要>

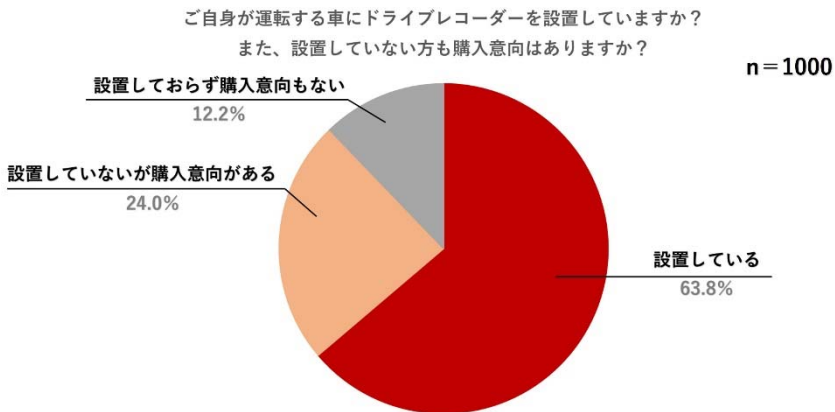
対象者：自宅に車を保有・運転する全国の男女 1,000 名
方法：インターネット調査
期間：2024 年 11 月 14 日～11 月 17 日

<調査結果詳細>

1) ドライブレコーダーの設置率は 63.8%。(前回調査※1 から 9.3 ポイント増加)
地方別のドライブレコーダー設置率ランキング第 1 位は近畿地方。他地方に比べて「あおり運転対策」を設置理由に挙げる回答が多い結果に

地方別ドライブレコーダー設置率ランキング

1位	近畿	71.6%
2位	東海	71.0%
3位	九州	65.2%
4位	南関東	63.8%
5位	中国・四国	63.2%
6位	北海道	59.2%
7位	東北	57.4%
8位	北関東	56.1%
9位	北陸・甲信越	53.7%

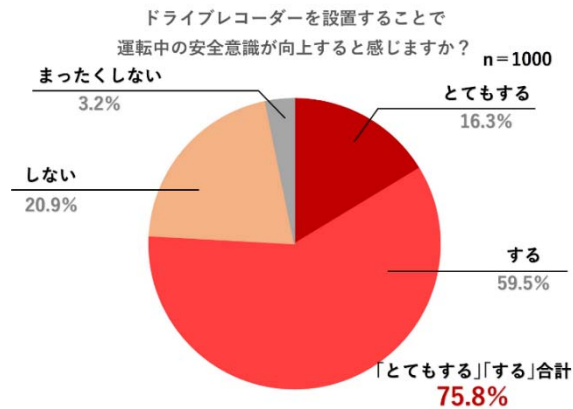


ドライブレコーダーの設置についての質問では、「設置している」と回答したドライバーが 63.8%となり、2022 年 5 月の前回調査※1 から 9.3 ポイント上昇しました。

地方別でのドライブレコーダーの設置率ランキングで最も高かったのは「近畿」(71.6%)。次いで第 2 位が「東海」(71.0%)、第 3 位は「九州」(65.2%)となり、設置率が最も低かったのは「北陸・甲信越」(53.7%)という結果になりました。

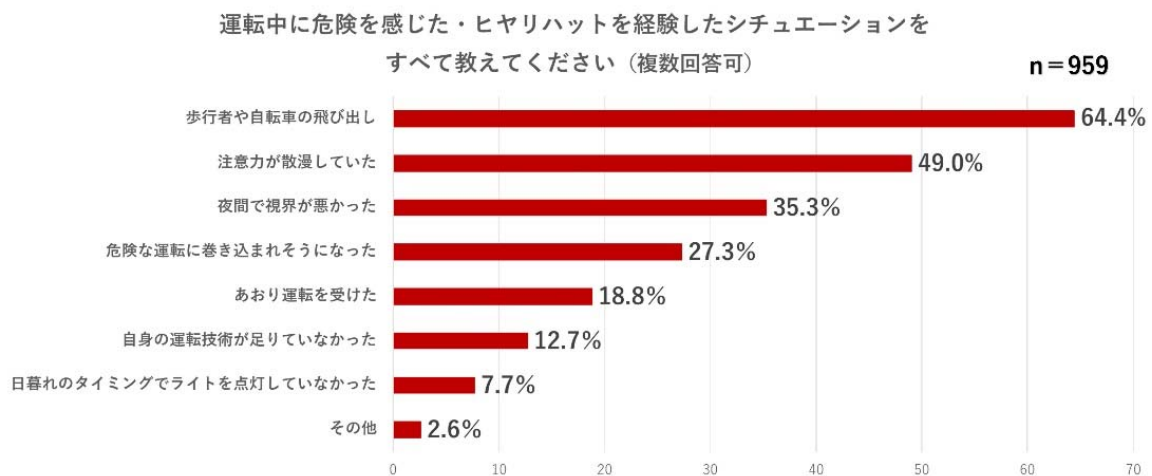
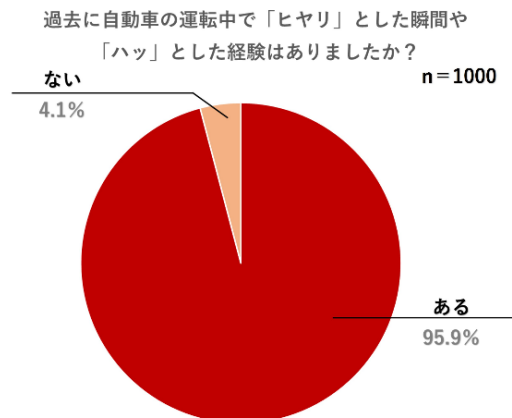
また、ドライブレコーダーを設置している/設置意向がある理由を地方別で見ると、設置率が 1 番高い近畿地方では、他地方に比べて「あおり運転対策」の回答が多くみられました。

2)ドライバーの 75.8%が「ドライブレコーダーを設置することで安全意識が向上する」と回答



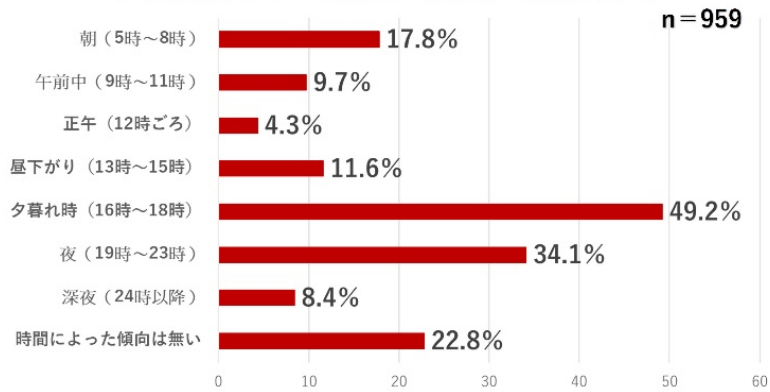
ドライブレコーダーと運転中の安全意識についての質問では、ドライバーの 75.8%が「ドライブレコーダーを設置することで安全意識が向上する」と回答しており、ドライブレコーダーを設置することが、ドライバーの安全運転の意識を高めていることが分かります。

3)95.9%のドライバーが「ヒヤリハットの経験がある」と回答。シチュエーションとして多いのは「歩行者や自転車の飛び出し」。また、半数のドライバーが夕暮れ時にヒヤリハットを経験していることが判明



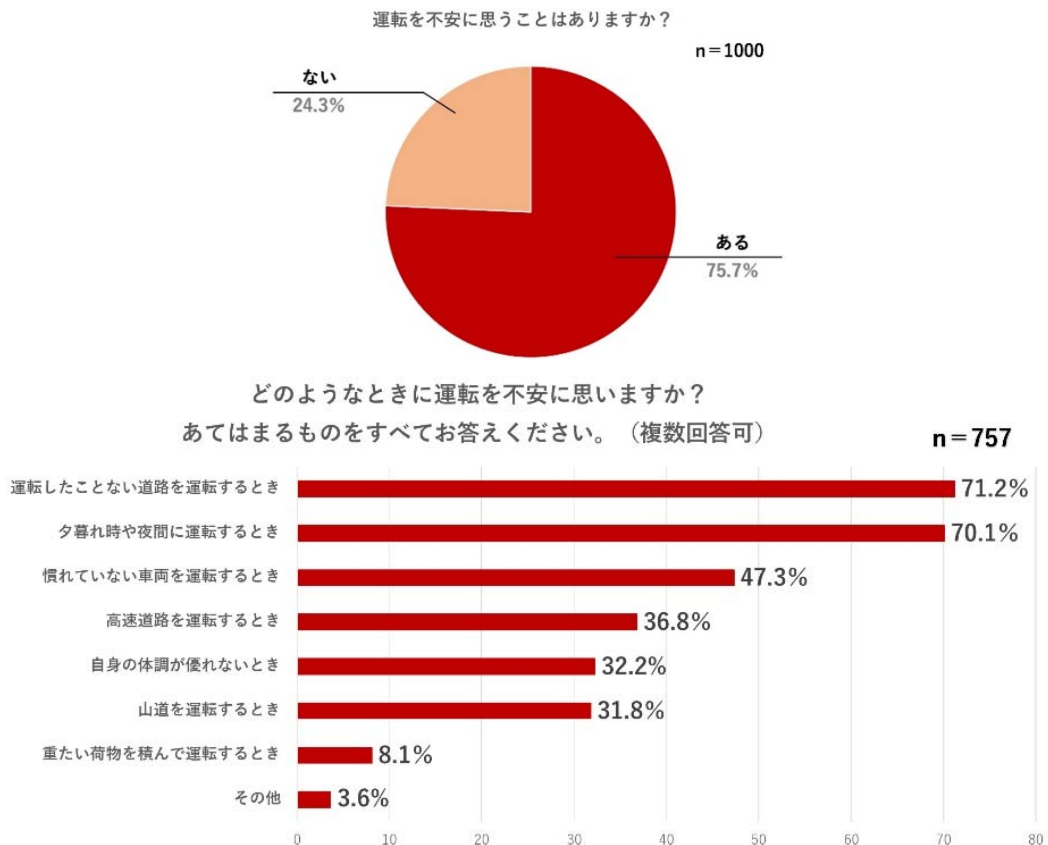
ヒヤリハットについての質問では、95.9%が「ヒヤリハットを経験したことがある」と回答。ヒヤリハットが発生したシチュエーションについて最も多かったのは「歩行者や自転車の飛び出し」(64.4%)、次いで「注意力の散漫」(49.0%)、「夜間で視界が悪かった」(35.3%)という結果になりました。

運転中に危険を感じる／ヒヤリハットを経験することの多い時間帯をすべて教えてください（複数回答可）



また、ヒヤリハットが発生する時間帯については、「夕暮れ時」(49.2%)、「夜間」(34.1%)と、ドライバーの約半数が夕暮れ時にヒヤリハットを経験しており、日が沈む前後、夕暮れ時の視界の悪さがヒヤリハットの発生につながっていると予想されます。

4)ドライバーの 75.7%が「運転を不安に思うことがある」と回答。運転が不安になるシチュエーションは、「夕暮れ時や夜間に運転するとき」が 70.1%という結果に



運転に対する不安の有無について調査したところ、75.7%のドライバーが運転に対して不安を感じていることが分かりました。不安を感じる方を対象に「不安を感じるシチュエーション」について質問したところ、最も多かった回答が「運転したことのない道路を運転するとき」(71.2%)、僅差で2番目に多かった回答は「夕暮れ時や夜間に運転するとき」(70.1%)という結果になりました。

「夕暮れ時や夜間に運転するとき」の回答は、全回答者(1,000名)で見ても53.8%を占めており、半数以上のドライバーが夕暮れ時や夜間の運転に不安を感じていることが分かりました。

<昼夜問わず高画質で高感度撮影が可能な カロツゼリア ドライブレコーダー>

夕暮れ時が早まる冬の時期に、ドライバー自身が予期できない事故やヒヤリハットに備えるには、ドライブレコーダーの性能・機能が重要です。

本調査における、ドライブレコーダーを選ぶポイントについての質問では、半数以上のドライバーが「画質」、4人に1人が「夜間の高画質撮影」と回答するなど、万が一の事故の際に、日中・夜間を問わず細部まで撮影できる高画質なドライブレコーダーへのニーズが高まっています。

パイオニアでは、高精細 4K 録画対応の最上位モデルをはじめ、夜間でも鮮明に撮影できる「ウルトラナイトサイト」対応モデル、小型ですっきりと取付け可能なフルHD 高画質録画モデルなど、幅広いニーズに応えた2カメラタイプのドライブレコーダーをラインアップしています。



ドライブレコーダー商品サイト：https://jpn.pioneer/ja/carrozzeria/recorder_sd/select/?ad=pr